

一般社団法人全国道の駅連絡会総会・シンポジウム in 宇多津
宇多津宣言

全国道の駅連絡会の法人化後、初となる総会・シンポジウムを本日ここ香川県宇多津町において開催しました。

「道の駅」は、平成5年の制度創設から四半世紀が経過し、全国に1,160駅と展開され、「令和」という新しい時代を迎えた今、「道の駅」も新たなステージへと、果敢に挑戦していくことが必要です。

シンポジウムでは、「道の駅」の第3ステージに向けて、地方創生や観光を加速する拠点として機能を発揮するための方策や、風景街道をはじめ様々な主体との連携のあり方について、議論を深めました。

近年、「道の駅」では訪日外国人観光客が大幅に増加しており、多言語対応やキャッシュレスといった基本サービスの充実に加え、地域ぐるみで受入環境を整備するなど、新たなインバウンド観光拠点となるための取組みを進める必要があります。

また、頻発化・激甚化する災害等に対して、「道の駅」が地域の防災拠点として機能するためのBCP策定や防災訓練等の実施に加え、周辺の防災施設や道の駅と連携して、広域的な防災拠点として機能を発揮する新たな「防災道の駅」を整備するなどの取組みも進める必要があります。

私たち全国道の駅連絡会は、各ブロックの道の駅連絡会との緊密な連携と、国等の関係機関からの支援の更なる充実の下で、これらの取組みを着実に進めるとともに、法人化の目的の1つである民間のアイデア等を効果的に活用するエージェント機能を十分に発揮することによって、「道の駅」全体、そして地域の発展に貢献していくことを、ここに宣言いたします。

令和元年10月23日
一般社団法人全国道の駅連絡会

■民間企業出展のご案内

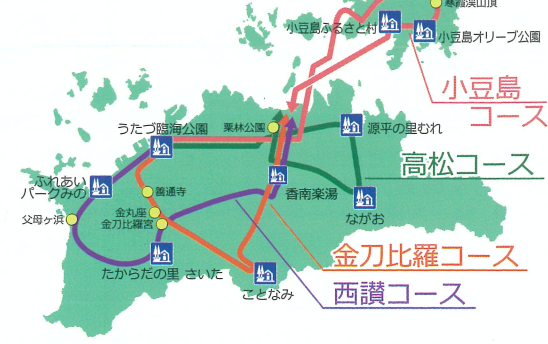
出展企業名	代表的な出展製品	出展企業名	代表的な出展製品
株式会社オアシスMSC	自動ラップ式トイレ ラップポン・トレッカー 3	株式会社ゼンリン	多言語ルート案内サービス/フリーマガジン道の駅旅案内全国地図
オーキッド株式会社	セーフティーポール ジャイロ型風力発電設備	大樹環境システム株式会社	災害用水洗トイレシステム iDOtec Toilet
株式会社クボタ計装	クボタ青果物品質評価装置 フルツレクター	ダイドレ株式会社	ステンレス製透化粧ふた Tosk Remake Cover
クボタ浄化槽システム株式会社	大・中・小型浄化槽及び各種排水処理施設 環境省実施事業 浄化槽省エネ補助金	株式会社TBグループ	デジタルサイネージ/キャッシュレジスター
KOKOROCAREグループ	デオファクターカーサ(ミネラル酵素触媒の消臭 制菌作用による衛生環境向上サポート)	TOTO株式会社	パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式
コンピウィズ株式会社	施設用育児環境製品 (おむつ交換台,ベビーキープ,親子トイレ等)	ニチリンケミカル株式会社	空気触媒 セルフィール
株式会社三陽電設	ベビーケアルーム 『mamaro』(Trim社製)	株式会社 フリーペーパー道の駅	フリーペーパー 道の駅
シヤチハタ株式会社	重ね捺しスタンプ	一般社団法人 未知倶楽部	道の駅TV
セコム株式会社	セコムAEDオンラインパッケージ	株式会社L I X I L	トイレ/手洗い/タイル/エクステリア
セコム医療システム株式会社	「ベビー用紙おむつ」と「飲料」を一体化した 自動販売機	一般社団法人 ルートスクエア	避難所設営シール

■現地視察のご案内 10月24日(木)

コース	出発	到着	出発	到着	出発	到着	出発	到着					
① 西讃コース	ホテル	8:15	道の駅「うたづ臨海公園」	8:30	道の駅「ふれあいパークみの」	9:00	父母ヶ浜	9:45	10:00				
	10:40	道の駅「たからだの里さいた」	11:10	11:30	金刀比羅宮(参拝と昼食)	14:00	14:40	道の駅「香南楽湯」	15:10	15:20	高松空港	16:10	高松駅
	② 小豆島コース	ホテル	8:15	道の駅「うたづ臨海公園」	8:30	高松港	9:20/9:55	土庄港(着後周辺作品鑑賞)	10:55/11:20	12:00	寒霞渓山頂(昼食)	13:30	高松駅
		14:00	道の駅「小豆島オリーブ公園」	14:30	14:40	道の駅「小豆島ふるさと村」	15:10	15:30	池田港	16:30	高松港	16:40	高松駅
③ 高松コース	ホテル	8:15	道の駅「うたづ臨海公園」	8:30	栗林公園	9:20/10:30	道の駅「源平の里むれ」(昼食)	11:00	12:20	高松駅			
	12:50	道の駅「ながお」	13:30	13:50/14:10	大窪寺	14:50	15:30	高松空港	高松駅				
④ 金刀比羅コース	ホテル	8:15	道の駅「うたづ臨海公園」	8:30	善通寺	9:00/9:40	金刀比羅宮(参拝) → 金丸座 → 昼食	10:00	12:40	高松駅			
	13:10/13:40	道の駅「ことなみ」	14:20	道の駅「香南楽湯」	14:50	15:00	15:40	高松空港	高松駅				



各コース概略図



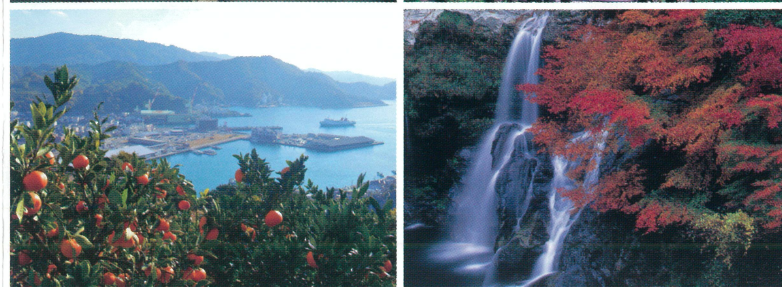
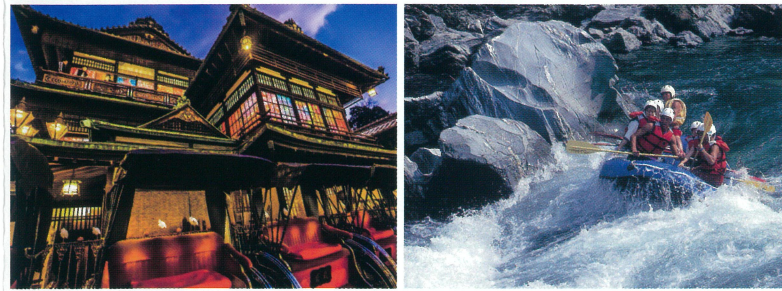
第8回「道の駅」 全国シンポジウム ～第3ステージに向けて～

in宇多津



日時 令和元年10月23日(水)
14:00～17:30

会場 ユープラザうたづ
(香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁88番地)



主催:(一社)全国道の駅連絡会,宇多津町
共催:国土交通省四国地方整備局,香川県
四国地区「道の駅」連絡会

後援:TSCテレビせとうち,KSB瀬戸内海放送,RNC西日本放送,OHK岡山放送
RSK山陽放送,CMSケーブルメディア四国,四国新聞社,読売新聞高松総局
日刊工業新聞社高松支局,産経新聞社,朝日新聞高松総局,毎日新聞高松支局
(株)日刊建設通信新聞社,共同通信社高松支局,デイリースポーツ,報知新聞大阪本社
日本金融通信社高松支局,四国時報,日刊建設工業新聞四国総局,FM香川
エフエム・サン株式会社,香川県町村会,公益財団法人香川県市町村振興協会
公益社団法人香川県観光協会,公益財団法人かがわ産業支援財団
公益財団法人香川県建設技術センター,香川県商工会連合会,宇多津商工会
宇多津町観光協会,香川県経営者協会,一般社団法人香川県建設業協会
一般社団法人日本道路建設業協会四国支部,一般社団法人建設コンサルタンツ協会四国支部
一般財団法人宇多津町振興財団,株式会社香川経済レポート社,株式会社高松リビング新聞社



第8回「道の駅」シンポジウム

in宇多津

プログラム

14:00 **シンポジウム開会**
 挨拶 四国地区「道の駅」連絡会会長
 宇多津町長 谷川 俊博
 来賓挨拶 香川県知事 浜田 恵造

14:25 **基調講演**
 テーマ：新「道の駅」について
 講演者：石田 東生（筑波大学 名誉教授、日本大学 特任教授）

視点 地方創生を加速させるため、「道の駅」の新たなステージに向けたあり方に関するアドバイス等について

15:40 **パネルディスカッション**
 テーマ：地方創生に向けた
 新たな「道の駅」の取組
 コーディネーター
 山中 英生（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 理工学域 教授）

パネリスト
 楓 千里（JTBパブリッシング エグゼクティブ・アドバイザー）
 黒川 征一（三好市長）
 宍戸 栄徳（NPO 遍路とおもてなしのネットワーク 事務局長）
 松村 暢彦（愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科 教授）
 村上 秀人（株式会社 しまなみ 代表取締役）

視点 連携による「道の駅」について、地域の特性にあった視点と取組戦略を併せて地方創生の核となる先駆的な取組の共有、来訪者のおもてなしの心・精神等について

17:25 **宣言**

地域活性化の拠点として
 「道の駅」が新たな活動や質的向上への取組を一層深化させる契機となることを目的として、シンポジウムを開催します。



主催者挨拶

全国道の駅連絡会会長
 南房総市長

石井 裕

本日は、第8回全国道の駅連絡会総会・シンポジウムin宇多津にお越し頂き、誠にありがとうございます。「道の駅」は制度創設から四半世紀が経過し、現在は全国で1160駅が登録され、地方創生の拠点として更なる期待が高まっております。そのような中、今年度より当会は一般社団法人として新たなスタートを切りました。今まで以上に道の駅関係者の方々との連携を密にし、道の駅が抱える様々な要望や期待に応えていく所存です。今回のシンポジウムは、“地方創生”に向けた今後の「道の駅」のあり方がテーマとなっております。ご参加の皆様にとって、当シンポジウムが今後の「道の駅」運営への一助となれば幸いです。



歓迎の挨拶

四国地区「道の駅」連絡会会長
 宇多津町長

谷川 俊博

本日は、第8回全国「道の駅」シンポジウムin宇多津に全国から多くの皆様にお越しいただきまして誠にありがとうございます。また、本会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様へ心よりお礼申し上げます。さて、宇多津町は、室町時代には幕府管領の細川氏の居館が置かれ、四国の政治・経済の中心地として、また近世以降は塩と寺の町として栄え、瀬戸大橋を契機に四国の玄関口となりました。来年3月には道の駅「うたづ海ホテル」に隣接して民設・民営による四国最大級の次世代水族館「四国水族館」がオープンします。新たな四国の観光拠点として四国内の道の駅との連携によりさらなる賑わい創出の一役となるよう取り組んでまいりますので皆様のご協力をお願いします。本日のシンポジウムが全国の「道の駅」の連携を深め、地方創生や地域活性化の推進に寄与されますことを願っております。

基調講演 新「道の駅」について



石田 東生
 （一財）日本みち研究所理事長
 筑波大学 名誉教授
 日本大学 特任教授

- 未来投資会議 次世代モビリティ・次世代インフラ 産官協議会 アドバイザー
- 国土交通省 社会資本整備審議会 道路分科会 会長
- 国土交通省 新「道の駅」有識者懇談会座長

専門研究分野は、「交通計画」や「インフラ政策策定」「政策策定とモニタリングのための移動調査」等多岐に渡ります。現在は、（一財）日本みち研究所理事長として、「道の駅」の多様なニーズや質的向上、既存施設のリニューアル等の調査・研究を行い、地方創生に尽力されています。

パネルディスカッション 地方創生に向けた新たな「道の駅」の取組

「道の駅」は、制度創設された平成5年から、通過する道路利用者へのサービス提供の場として整備が進み、平成25年からは、第2ステージとして、公共サービスや観光等の機能の充実が図られ、道の駅自体が目的地となり、地方創生や地域活性化の拠点として整備が進められてきました。そうした中、制度創設から四半世紀が経過し、現在では、全国で1,160駅が認定されており、地方創生の拠点としての役割へ更なる期待が高まっています。本シンポジウムは、道の駅の新たなステージ（第3ステージ）に向けて、地方創生を更に加速するとともに利用者や地域からの更なる期待や信頼に応えていくため、インバウンド受入環境の整備や多様な主体との新たな連携に関する取組等を一層深化させる契機となることを目的として開催します。



コーディネーター
 山中 英生
 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 理工学域 教授

- 三好市「道の駅」整備検討委員会 委員長
- 徳島県 都市計画審議会 会長
- 自転車利用環境向上会議全国委員会 副会長
- 国土交通省 ナショナルサイクルルート 検討小委員会 委員 等

専門研究分野は「都市交通計画」「交通安全」「自転車空間」「市民合意形成」等。現在は、自転車を中心とした交通計画・まちづくりに関する研究に携わるほか、数々の社会資本整備・地域創生に関する委員会等に参画されています。



パネリスト
 楓 千里
 JTBパブリッシング エグゼクティブ・アドバイザー

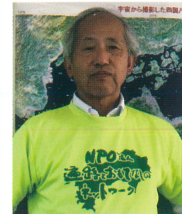
- 国土交通省 社会資本整備審議会 委員
- 国土交通省 新「道の駅」あり方検討会 委員
- 国土交通省 「風景街道」有識者会議 委員
- 観光庁 テーマ別観光による地方誘客事業有識者委員会 委員
- 総務省 ふるさとづくり懇談会 委員

日本交通公社（JTB）に入社以来、旅行雑誌やガイドブック、WEBサイトを通して旅行情報をお届けする仕事を続けています。「道の駅」は、当社のメイン商品「るるぶ情報板」の巻頭付録や特集で掲載する重要なコンテンツで、編集者はその動向から目が離せません。



パネリスト
 黒川 征一
 三好市長

1947年徳島県池田町（現三好市）生まれ。法政大学文学部卒業。池田町役場勤務を経て、1999年に徳島県議会議員に初当選し、以降4期連続当選。2013年7月に三好市長に就任。現在2期目。



パネリスト
 宍戸 栄徳
 NPO 遍路とおもてなしのネットワーク 事務局長

香川大学大学院地域マネジメント研究科教員として地域活性化について指導。香川大学退職後にNPO法人遍路とおもてなしのネットワーク事務局長に就任。遍路文化、おもてなし文化の活性化の活動を通じて、「四国遍路」の世界遺産化を目指す。主な活動として、歩き遍路を結願した人への「遍路大使任命書」の授与、遍路道しるべの石柱設置、親子お遍路ウォーキングや一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」開催、外国人の歩き遍路サポート、スペイン・サンティアゴ巡礼路との交流、海外での「四国遍路展」開催。



パネリスト
 松村 暢彦
 愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科 教授

- 大洲市復興推進協議会 委員
- 生駒市北生駒まちづくり会議 会長
- 京都市学校モビリティ・マネジメント検討委員会委員
- 愛媛県地域公共交通網再編協議会 副会長

専門研究分野は、「土木計画学」「都市地域計画学」であるが、現在は「科学コミュニケーション」や「社会心理学」等、多岐に渡る知見を用いた政策に関する研究が行われているほか、数々の社会資本整備に関する委員会等にも携わられています。



パネリスト
 村上 秀人
 株式会社しまなみ 代表取締役社長

1963年 愛媛県今治市生まれ。今治市在住。1985年 松山商科大学（現・松山大学）経営学部卒業。2007年 瀬戸内しまなみ海道沿いの道の駅施設3駅の指定管理者。2008年 日本三大急潮流の一つである来島海峡の急潮流を間近に体験できる「来島海峡急流観潮船」を運営。（2018年に乗船客40万人達成）国家戦略特区の一環で、全国初の道の駅を民営で管理運営。2017年 第三種旅行業登録。「地域と連携し、地域とともに発展する」を経営理念に、しまなみ海道島しょ部の活性化に取り組んでいます。

